

華宝会

平成二十九年

七月八日(土)

午後二時開演

於 宝生能楽堂(水道橋)

宝生流 能

卒都婆小町

シテ 田崎隆三
ワキ 野口能弘

和泉流 狂言

栗焼

シテ 野村万作

金春流 能

殺生石

シテ 櫻間右陣
ワキ 野口敦弘



宝生流

卒都婆小町

シテ 田崎隆三

ワキ 野口能弘

ワキツレ 野口琢弘

笛 一噌幸弘

小鼓 大倉源次郎

大鼓 國川純

和泉流

栗焼

シテ 野村万作

アド 深田博治

金春流

殺生石

シテ 櫻間右陣

ワキ 野口敦弘

アイ 石田幸雄

笛 藤田次郎

小鼓 曾和正博

大鼓 安福光雄

大鼓 親世元伯

◇ 卒都婆小町 そとばこまち ◇

僧が鳥羽の辺りを通ると倒れている卒都婆に腰掛けている物乞いの老女を見かける。咎め教化しようとするが仏法問答も鮮やかに、かえって言い負かされてしまう。老女は五月蠅い僧だと擲論しつつも小野小町のなれの果てだと明かす。零落した身を恥じつつ昔を懐かしむ小町であつたが、突如深草少将の妄執に取り憑かれ狂乱の態となり百夜通いの有様を見せる。やがて我に返ると仏に仕え悟りの道に入る事を願うのであつた。

秘曲とも言われる三老女物の中においても、巧みに組み込まれた僧との丁々発止の間答や百夜通いの逸話は起伏に富んでおり、老いて尚昔の才気と驕慢さを覗かせる小町を表現した老女物の傑作。

◇ 殺生石 セっしょうせき ◇

玄翁が行脚の途中、那須野を通ると鳥が空から石の上に着ちるのを見かける。驚く玄翁の前に現れた里女は、昔玉藻前という女が鳥羽院に害をなそうとしたが正体を見破られ、化生の姿を現し那須野へと消えたが遂には退治されたと言ひ、女の執心が石に成つたのが殺生石であり自分はその石魂であると言ひ残し失せてしまふ。玄翁が仏事を営むと石が割れ、野十(狐)が出現し討ち取られた有様を見せるが、今後は悪事をやめると誓ひ消え失せていく。

狐が美女に化け災いをなす妖狐伝説を基にしており、鬘物の風情ある前場と修羅物としての後場の対比の面白さ。又、討ち取られる様を演じる仕方話の楽しさがある曲。

主催

華宝会

全席指定

- A席 12,000円
- B席 10,000円
- C席 8,000円
- D席 6,000円
- D席 4,000円(学生)

※早割(4月末まで)、団体割(5名様以上)あります。

チケット取り扱い・お問い合わせ

華宝会事務所 〒202-0015 東京都西東京市保谷町3-20-2
 TEL. 042 (461) 0885 FAX. 042 (461) 0089
 郵便振替 00100-0-40473
 ※お振込み確認後、チケット送付いたします。

(財)都民劇場 TEL. 03-3572-4311
 宝生事務所 TEL. 03-3811-4843
 新宿稽古場 TEL. 03-3361-9255 JR新宿駅下車8分(木)(金)

【華宝会公演情報】

詳しくはこちら ▶ kahoukai.blogspot.jp



webからもお申し込みできます
 カンフェティ
<http://www.confetti-web.com/kahoukai>

FAX 申し込み書

※FAXでお申し込みの方は以下の項目を記入して送信してください

希望の席

住所

〒

席 枚

氏名

連絡先

TEL

FAX